

実施日：10月23日（5校時）	
領 域：総合的な学習の時間	
取組名：わたしにできる福祉	
対 象：5年生	実施場所：5年1組教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の意味や地域の現状、より良い暮らしをしたいという人々の思いや願いを理解させる。</li> <li>福祉に関する課題を見つけ、今自分にできることをしようとする態度を育てる。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <p>第1次 福祉とは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の不便な所を見付けさせる。</li> <li>アイマスク体験、車いす体験をさせる。</li> <li>体験活動を通して生まれた気付きや疑問、今自分にできることをまとめさせる。</li> <li>気付きや疑問を出し合い、自分なりの課題を考えさせる。</li> </ul>	
<p>第2次 人々が暮らしやすくなるための取組について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ別のグループをつくり、どのような課題について学習を進めるか話し合い、課題追究のための計画を立てさせる。</li> <li>課題解決へ向けて調べたり活動したりさせる。</li> <li>調べた情報について整理し、それに対する自分の考えをもたせる。</li> </ul>	
<p>第3次 福祉についてわかったことや考えたことを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で自分が調べ、集めた情報を伝え合わせ、プレゼンテーションにまとめさせる。</li> <li>調べたことを他のグループに発表し、考えを深めさせるとともに、自分も社会の一員として誰もが暮らしやすい街にしていけるためにできることをしようとする態度を育てる。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭、地域	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>登下校がより安全になるための取組を PTA の役員にインタビューしたり普段の生活で不自由を感じることを家庭でアンケートを取ったりして、学習に生かす。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修で、話し合いの質を高めるために、本質に迫る課題設定について取り組み、問いを精査していけるよう意思統一を図っている。</li> <li>年間を通じて、朝の短時間学習において、あいづちの仕方など各学年の発達段階に応じてコミュニケーション能力を育む実践を系統立てて取り組んでいる。</li> </ul>	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言 ・ 授業後のふり返り（Google フォーム）</li> </ul>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「福祉＝障害のある人や高齢者に対して」という固定観念が強くあったが、身近にある自分にできることを考えさせることで誰もが幸せに暮らすことができるのが福祉であると気付いた児童がたくさんいた。</li> <li>給食がこぼれたときや作業後に教室の床が汚れているときには当事者でなくても黙って後片付けを手伝う姿がよく見られるようになった。またその行動に対して「ありがとう」という言葉を返すことで安心感が生まれ、学級内の雰囲気良くなっている。</li> </ul>	
<p>ク 課題</p> <p>言葉では「自分にできること」を挙げていても、学校外でとっさに行動に移すことが難しいという意見もあり、思いと自分の行動をつなげていくことが課題である。そのためにもまずは比較的ハードルの低い学校内の友だちに親切にすることを心がけさせ、きっかけづくりに努めていきたい。</p>	